■2015年度　自治労女性労働学校に参加して

日高地方本部　浦河町職労　宇田早織

【第１講座について】

　「アベノミクス」という言葉をニュースなどでよく耳にすることはありますが、実際に自分たちの生活にどのように関係しているのか、また、どの程度関係しているのか、正直なところ、政治に全く関心のない私には分かりませんでした。景気に関係しているのだろうとか、自分が興味をもったところで景気が変わるわけじゃないしとか、漠然としたイメージしかもっていなかったため、講座の題を見たときに、自分に理解できるのだろうか…と不安でいっぱいでした。

　講座の内容は、思っていたとおり難しいものでしたが、複数の図表を用いて実際の数値を目で見ることにより、頭の中に入ってきやすい説明でした。自分が興味・関心を持たなかった分野のため、聞くことすべてが新しい情報だったので驚きの連続でした。

【第２講座について】

　まず、自治労関係の講座で弁護士の先生が講師であることに驚きました。講座を受けるにあたり少し緊張しましたが、難しい話だけではなくジョークも交えてのお話でしたので、楽しく聞くことが出来ました。

　男女平等という言葉が浸透していて、実現はそう遠い話ではないのではないかと考えていましたが、組合活動で男女平等について学習したり取り組みをしたりするうちに、実際は全く逆なのではないかと感じるようになりました。女性の活躍のために外国人家事労働者を導入する、という考え方があることにはとても驚きました。確かに、ハウスキーパーやベビーシッターを利用して働いている人はたくさんいると思います。高額所得者にはそれができるかもしれませんが、先生が解説していたように、低所得者層の多い女性労働者には難しいと思います。特に育児に関しては、親子の関係づくりのことを考えると現実的ではないような気がしました。

　将来、できるなら働き続けたいという考えを、私だけではなく同じ職場で働く同僚も持っています。働き続けるなかで、女性特有の悩みを話し合うたびに、男女平等の難しさを感じます。今回の学びを経て、私たちができることは何かを見つけていきたいと思いました。

【第３講座について】

　賃金については、正直なところ入ってくる金額しか確認せず、賃金がどのように決まっているかのしくみを考えていませんでした。今回、改めて賃金が決定するまでの流れやしくみを学習し、賃金は最終的に自治体の条例で決定すること、そのために組合が交渉していることなどが分かりました。

　人事評価制度については、モチベーションの向上になるという観点からすると導入には賛成の考えです。ですが、女性の立場から考えると、産休や育休等の取得が評価に影響するのか、影響するのであれば低く評価されないだろうか、と不安な点がいくつかあります。講師の岸さんも解説していましたが、導入には「労働組合の関与」が最大の課題ということでしたので、私たち組合員が納得のできる形で導入されるよう、できることを見つけて行動していきたいと思います。

【第４講座について】

　平和や憲法について、このような形で講義を受けたのは高校生以来のような気がしました。この分野は政治経済と同じで苦手だったため嫌厭していました。普段の業務でももちろん法律をもとに事務を行っていますが、日本国憲法が私たちに関与していることは意識することがありませんでした。憲法９条について、今の自分の知識では安部首相がどうしようとしているのか具体的なことは理解していませんが、報道等からいい方向に向かっていないのではということは感じています。私たちの平和が脅かされることが心配されるので、しっかり平和の歴史、憲法についても学ぶ必要があると感じました。

【教宣紙づくりについて】

　今まで教宣紙作成に関与してこなかったのですが、この講座では、読みたくなるような教宣紙の内容について学ぶと思い込んでいました。ですが、レイアウトや細かいルールがあるということで、組合員が「読みたくなる」ためには内容だけではなく見た目も肝心だということがよくわかりました。過去の労働学校で作成した教宣紙や、良い例・悪い例を見せていただくことにより、「読みたい！」と思える教宣紙のイメージがつかめました。グループでの作成は、実際に教宣紙を作ることでルールを意識して作成し、体で覚えることができたように感じます。また、グループのメンバーが全国から集まっていたので、普段の集会などでは聞くことのできない、道外の仲間の話を聞くことができたのが一番新鮮で、貴重な体験でした。

【まとめ】

　組合活動を今まで全くと言っていいほど取り組んでいなかった自分が道本幹事になり、右も左もわからないまま女性労働学校に参加させていただきましたが、自分がいかに物事に対して興味・関心を持っていないかを痛感しました。

　講座の中でもありましたが、自らが関心を持って情報収集することが必要だということが今回学んだ中で一番の気付きだったので、今後はそのことを意識して過ごしていきたいと思います。そして、疑問に思ったことはそのままにせず発信していくこと、今回得た知識を単組の仲間と共有していきたいと思いました。